

Quest™



KACE®システム管理アプリケーション9.0

リリースノート



目次

Quest® KACE®システム管理アプライアンス9.0リリースノート.....	3
KACEシステム管理アプライアンス9.0について.....	3
新機能と強化点.....	3
サービスデスクおよびユーザーコンソール機能.....	3
資産管理機能.....	4
エンドポイント通信機能.....	5
インフラストラクチャ機能.....	5
解決済みの問題.....	7
既知の問題.....	9
システム要件.....	10
製品ライセンス.....	11
インストール手順.....	11
更新の準備.....	11
アドバタイズされたアップデートを使用したKACE SMAサーバのアップデート.....	12
アップデートの手動によるアップロードと適用.....	12
アップデート後のタスク.....	13
正常に完了していることの確認.....	13
セキュリティ設定の確認.....	14
追加のリソース.....	14
グローバル化.....	15
当社について.....	15
名前を超える存在.....	15
当社のブランドとビジョンと、ともに。.....	15
Questへのお問い合わせ.....	16
テクニカルサポートのリソース.....	16
法的情報.....	16

Quest® KACE®システム管理アプライアンス9.0リリースノート

このリリースノート文書は、KACE システム管理アプライアンス (SMA) バージョン 9.0 に関する情報を提供します。

KACEシステム管理アプライアンス9.0について

KACEシステム管理アプライアンス (SMA) は、デバイスの管理、アプリケーションの展開、パッチ適用、資産管理、サービスデスクチケット管理などを自動化するための、物理 / 仮想アプライアンスです。KACE SMAシリーズアプライアンスの詳細については、<https://www.quest.com/products/kace-systems-management-appliance/>をご覧ください。

新機能と強化点

このリリースのKACEシステム管理アプライアンス (SMA) は、以下の機能と拡張機能を備えています。

サービスデスクおよびユーザーコンソール機能

このリリースのKACEシステム管理アプライアンス (SMA) は、以下のサービスデスクおよびユーザーコンソール機能と拡張機能を備えています。

- 新しいサービスデスクダッシュボード：サービスデスクダッシュボードには、選択した組織 (該当する場合)、またはアプライアンスのサービスデスクチケットの概要が表示されます。このダッシュボードを使用すると、関連する動的ウィジェットとリンクを一目で確認できます。
 - 注: 古い (非動的) サービスデスクウィジェットをインストールしている場合、バージョン 9.0 にアップグレードした後に変更されません。削除した場合、元に戻したとき、動的ウィジェットのみを使用できます。
- IT プロセスの自動化：
 - 新しいソフトウェア要求：承認が必要です プロセステンプレートがサービスデスクに追加されます。このプロセステンプレートを使用して、1つまたは複数の承認を必要とするユーザーダウンロードを設定します。このテンプレートは、ユーザーダウンロード ページでのみ使用できます。
 - 承認を必要とするように ユーザーダウンロード ページで項目を設定して、ソフトウェアのポリシーと支出をよりの確に制御できます。ユーザーが承認を必要とするアイテムのダウンロードまたはイン

ストールを要求すると、自動的に作成されたプロセスチケットへのリンクとともにリクエストの承認が保留中であることが通知されます。

- このリリースから、アプライアンスが、SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) トラップなどの通知を受信するたびに、サービスデスクチケットを自動的に作成するように監視プロファイルを設定できます。
- E メール管理：管理者は、新しいチケットが E メールまたはユーザーポータルを介して送信されたときに、キューにいるすべてのキュー所有者に E メール通知を設定できるようになりました。
- プロセス管理：ユーザーは、管理コンソールにログインすることなく、通知 E メールに返信するだけで、必要に応じて、承認または却下して、プロセス要求に回答できます。
- チケットの応答テンプレート：応答テンプレートを使用すると、サービスデスクチケットにコメントまたは解決策として入力できる一般的な応答を保存できます。各応答テンプレートは、特定のチケットキューに関連付けられ、作成したユーザーに属します。パブリックのフラグが付けられた応答テンプレートは、そのキューにいる他の技術者も利用できます。チケットの詳細 ページの コメント および 解決 セクションで、該当する応答テンプレートを選択することができます。
- チケット管理：
 - 最大 5 つの添付ファイルを既存のチケットに追加することができます。
 - チケットコメントを編集および削除できるユーザーを指定できるようになりました。すべてのチケット所有者であるか、1 つまたは複数のラベル (指定に従う) に関連付けられているユーザーのみが、コメントを更新または削除することができます。
 - チケットの CC リストにあるユーザーは マイ CC チケット リストでこれらのチケットを表示できるようになりました。

資産管理機能

このリリースのKACEシステム管理アプライアンス (SMA) は、以下の資産管理機能と拡張機能を備えています。

- ソフトウェアライセンス取得アシスタント：アプライアンス管理者は、使用頻度の低いソフトウェアを取得し、必要に応じて再使用するために、ユーザーデバイスで特定のソフトウェアアプリケーションを使用する頻度に基づいて、アンインストール可能なカタログ登録済みソフトウェアを識別できます。この機能を使用すると、ほとんど使用しないソフトウェアを簡単に検出し、削除するためのアクションを行うことができます。過去 30、60、90 日間使用されていない特定のソフトウェアアプリケーションのライセンス、または関連付けられたすべてのライセンスを再利用するオプションがあります。
- ソフトウェアライセンス管理：
 - ライセンス資産詳細 ページがタブに再編成され、より効率的で使いやすくなっています。
 - 1 つのライセンス資産に複数の購入契約を含めることで、購入履歴を維持しながら、すべての購入を組み合わせると合計ライセンス数を出すできるようになりました。
 - ライセンス購入で保守を延長し、このトランザクションの監査証跡を維持して、購入証明を示すことができます。
- ソフトウェアカタログのカスタマイズ：管理者は、特定のソフトウェアタイトルをライセンスコンプライアンスレポートから手動で除外し、レポートに表示するタイトルをより細かく管理することができます。この機能は、例えば、.NET、Facetime、Spotify、Solitaire、vSphere Client など、ライセンスコンプライアンスでライセンス済みソフトウェアと見なしたい項目を制限し、重要なものだけを表示するときに使用します。
- ソフトウェアカタログの向上：このリリースでは、指紋機能の強化やデータベースの変更を含む、ソフトウェアカタログを強化するためのいくつかの改良が行われています。

エンドポイント通信機能

このリリースの KACE システム管理アプライアンス (SMA) は、以下のエンドポイント通信機能と拡張機能を備えています。

- 一連の仮想マシンアクションの拡張：このリリースから、アプライアンスは電源オン / オフ、一時停止、再起動などの基本的な仮想マシンアクションをサポートします。
- KACE エージェントアプリ：新しい KACE エージェントアプリを使用して、必要に応じて、Mac のメニューバー、または Windows のシステムトレイを使用して、KACE Agent のステータスの確認、強制的なインベントリ更新、およびエージェント情報の表示ができます。エージェントアプリは、エージェントが現在接続されているか切断されているかを示します。エージェントの再起動やインベントリの強制実行など、いくつかの基本的な右クリック操作もサポートしています。アプリにアクセスするには 通信設定 の下でデバイスでのエージェントのステータスを有効にする必要があります。
- Raspbian Linux のサポート：Raspberry Pi デバイスで Raspbian Linux OS がサポートされ、エージェントベース管理およびエージェント不要管理が利用できるようになりました。Linux ベースのデバイスで現在サポートされているすべての機能 (監視を除く) が、Raspbian Linux デバイスでサポートされるようになりました。
- 新しい SNMP テンプレート。最も一般的なモノクロおよびカラープリンタデバイスには、すぐに使用できるテンプレートが含まれています。この機能により、トナー、紙詰まり、フューザーの問題、およびその他の問題を通知するために、アプライアンスを設定する作業が不要になります。
- WinRM および SSH エージェントトンネル：このリリースから、WinRM (Windows リモート管理)、SSH (セキュアシェル)、または SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) でエージェントが作成したトラフィックトンネルを使用して、検出、プロビジョニング、およびインベントリのアクションがサポートされます。この機能を使用して、1 つのリモートエージェントコンピュータを指定して、エージェント不要で検出、プロビジョニングなどを実行できます。
- HP および Lenovo デバイスの保証情報：このアプライアンスでは、HP および Lenovo デバイスの保証情報を収集して表示するようになりました。
- ルーティングデバイスのアクション：Microsoft Internet Explorer で ActiveX を有効にすると、デバイスアクションは ActiveX を使用して実行されます。ActiveX が無効になっている場合、または別のブラウザを使用する場合は、デバイスアクションを実行している Windows デバイスに KACE エージェントバージョン 9.0 以降のエージェントがインストールされ、接続されている必要があります。エージェントを介してデバイスアクションを開始する場合、アクションの実行可能ファイルは %PATH% に配置する必要があります。
- KACE クラウドの統合：KACE クラウド MDM (モバイルデバイスマネージャ) との継続的な統合を提供するため、KACE クラウド MDM によって収集された追加のインベントリ項目がアプライアンスインベントリに表示されます。これに加えて、KACE クラウド MDM がメンテナンス中の場合、アプライアンスがユーザーに警告します。

インフラストラクチャ機能

このリリースの KACE システム管理アプライアンス (SMA) は、以下のインフラストラクチャ機能と拡張機能を備えています。

i 注: Samba v.1 はデフォルトで無効になっていますが セキュリティ設定 ページ (ESMP-5526) でオプションを選択すると、再度有効にすることができます。

- インフラストラクチャおよび OS の機能強化：
 - このリリースでは、アプライアンスは PHP 7.x に移行します。
 - アプライアンス OS は FreeBSD 11.0 から FreeBSD 11.1 にアップグレードされています。

これにより、アプライアンス全体でのページ読み込み時間とレポート速度が大幅に向上しました。

- サービスとしての KACE セットアップウィザード。サービスとしての KACE 初期セットアップウィザードでライセンスタイプに基づいて、サービスとしての KACE インスタンスの制限を自動的に検出して設定できるようにになりました。
- ユーザー認証：
 - 2要素認証 (2FA) により、セキュリティの追加レイヤーが KACE SMA に追加されたことで安心感が得られます。アプライアンスにログインしているユーザーに強力なセキュリティを提供するには、この機能を使用します。これは、Google Authenticator アプリケーションに依存して検証コードを生成します。このアプリは、定期的に新しい 6 桁のコードを生成します。2FA を有効にすると、エンドユーザーはログインするたびに現在の検証コードを要求されます。
 - このバージョンでは、ユーザー認証ログが追加されています。ログには、アプライアンスにログインしたユーザー、デバイス IP、ユーザーコンソール、管理者コンソール、システム管理コンソールのいずれにログインしようとしているか、組織名 (該当する場合)、認証タイプ、および認証の試行が成功しているかどうかを記録します。
- ユーザーエクスペリエンスと操作性の向上：
 - 自分に最適なユーザーインターフェイスになるように、3 つのカラースキームから選択することができます。すべての新規ユーザーに対して、管理コンソールはデフォルトのライトテーマで表示されます。さらに、ダークテーマとハイブリッドテーマという 2 つのテーマが利用できます。アプライアンス、またはユーザープロファイルのデフォルトのテーマを変更することができます。例えば、ライトテーマがシステムレベルでデフォルトでアプライアンスに設定されていて、ダークテーマをユーザープロファイルに関連付けた場合、ログインするたびにダークテーマが適用されます。
 - すべてのエージェントベースの詳細ページで、一連の一貫したスケジュールオプションが使用できます。
 - 新しい タスクスケジュール ページには、実行予定のタスクのリストが表示されます。このページの内容は、スケジュールウィジェットがある場所に表示され、ホーム タブからもアクセスできます。これを使用すると、お客様の組織、またはアプライアンスによって管理されるすべての組織にスケジュールされているタスクのタイプと範囲の概要をすばやく確認できます。スクリプトなどの詳細ページが関連付けられているタスクは、テーブルのタスク名をクリックしてアクセスすることができます。
- ダッシュボードの改善：
 - 新しい イベントリダッシュボード には、選択した組織 (該当する場合)、またはアプライアンスの管理対象デバイスの概要が表示されます。このダッシュボードを使用して、関連するウィジェットとリンクを一目で確認できます。
- 配布の改善：このバージョンでは、タスクチェーンという概念が導入されています。タスクチェーンとは、特定の順序で実行できるタスクの集合です。1 つまたは複数のスケジュールされたバッチ、管理対象のインストール、スクリプト、ファイル同期アイテム、および Wake-On LAN 要求をタスクチェーンに追加することができます。例えば、管理対象のインストールを展開して、ターゲットデバイス上でスクリプトを実行する必要があるときに、タスクチェーンを使用します。タスクチェーンのタスクの順序は必要に応じて簡単に変更することができます。各タスクチェーンは、タスクチェーンでの定義に従って、設定されたデバイスグループに対して実行されます。タスクチェーン内のターゲットデバイスがオフラインになっている場合は、デバイスが接続されているときに実行するタスクチェーンを設定することができます。ターゲットデバイスが複数のタスクチェーンで参照されている場合、一度に 1 つのタスクチェーンのみがデバイスに対して実行されます。
- オフボードバックアップ転送：アプライアンスで問題またはデータ損失が発生したときに、バックアップファイルが外部の場所にバックアップをされていない場合、アプライアンスを以前の状態に復元できないことがあります。このリリースから、バックアップデータを外部の場所に自動的に転送するように設定することができます。設定されている場合、アプライアンスでは、夜間バックアッププロセスが完了するたびに、バックアップファイルを外部の場所にコピーします。

解決済みの問題

以下の問題は、このリリースで解決されています。

解決済みのエンドポイント通信の問題

解決済みの問題	問題 ID
Windows でのアトミックなファイルの書き込みは、停電時にファイルが破損する原因になる可能性があります。	ESMEC-2956
レプリケーションクライアントディストリビューション Linux ファイルは、アップグレードされたアプライアンスでのみ、.tgz 拡張子でリストされます。	ESMEC-2946
Microsoft Windows Vista、ベース Windows 2008、Windows XP、および Windows POS 2009 上の 9.0 KACE エージェントのプロビジョニングでは、プロビジョニングログに サポートされていないプラットフォーム エラーが記録されませんでした。	ESMEC-2929
9.0 KACE エージェントは、Microsoft Windows Vista、ベース Windows 2008、Windows XP、および Windows POS 2009 にインストールされていました。	ESMEC-2913
最新の .NET バージョンが正しくマッピングされませんでした。	ESMEC-2880
VMware ESXi 6.7 エージェント不要インベントリにマシンのシリアル番号がありませんでした。	ESMEC-2868
konea.exe、klog.exe、kstatus.exe、kwol.exe の発行元情報がインベントリデータに存在しませんでした。	ESMEC-2866
エージェントメッセージプロセスキューが、メッセージに詰まった場合にバックログになる可能性があります。	ESMEC-2858
IPv6 アドレスが使用されている場合、LDAP 検出に失敗しました。	ESMEC-2785
パッチ適用中に、KAgent.log でエラー 2 が検出されました。	ESMEC-2722
カスタムインベントリルール FileInfoReturn(path, attribute, type) が、一部の Ubuntu プラットフォームで動作しませんでした。	ESMEC-2706
ユーザーは、1 つのポーリングセッションで何件のアラートであれば「多すぎる」かを指定できず、エージェント不要モニタリング機能でハードコードされた値が代わりに使用されました。	ESMEC-2502

解決済みのKACE SMAサーバの問題

解決済みの問題	問題 ID
サービスデスクチケットに、タイトルでエンコードされた HTML データを含めることができました。	K1-19888
資産のインポートに時間がかかりすぎる場合があります。	K1-19887

解決済みの問題	問題 ID
夜間に再生成されたとき、ソフトウェア資産の数が誤っている可能性があります。	K1-19866
緊急および最新の通知リストに不正確な情報が含まれている可能性があります。	K1-19849
OS ピッカーツールを使用している場合、Windows 10 Enterprise LSB (Long Term Servicing Branch) が Windows Server 2016 の下に表示されました。	K1-19847
診断ユーティリティからのサービステストで、Hyper-V または物理ハードウェアの障害の誤報が示される可能性があります。	K1-19820
システムの使用率が高いとき、キューのカスタマイズが失敗する可能性があります。	K1-19808
不正な変数とワイルドカードの置換により LDAP フィルタテストが失敗しました。	K1-19792
エージェントタスク ページでのデバイスへのリンクが間違っていました。	K1-19784
古いエージェントの削除に失敗する可能性があります。	K1-19775
重複した資産サブタイプフィールド名が予期しない動作を引き起こす可能性があります。	K1-19719
マネージャがマップされているとき LDAP インポートが属性の更新に失敗しました。	K1-19707
資産ユーザー フィールドを 未割り当て に戻すことができませんでした。	K1-19699
ホスト名にある大文字のため、SSO (シングルサインオン) が有効になっているとき、一部のネットワーク設定を変更することができませんでした。	K1-19613
サポートされていないセキュリティポリシーは削除されます。	K1-19607
タイムアウトしたエージェントタスクが、アプライアンスのすべてのタスクの処理を中断する可能性があります。	K1-19588
エージェント構成ファイルが破損し、その結果、サーバーへの接続に失敗する場合があります。	K1-19581
システムユーザーを削除できませんでした。	K1-19524
アーカイブされたユーザーが、インポートされているユーザーと同じユーザー名である場合、LDAP インポートに失敗する可能性があります。	K1-19521
ユーザーのダウンロード用の デバイスラベル別でも制限 フィールドが正常に動作しませんでした。	K1-19513
検索コンテキスト内に追加属性があると、検出結果のホスト名が正しくない可能性があります。	K1-19490

解決済みの問題	問題 ID
マルチ組織アプライアンスで、管理ユーザーが正しいユーザーエントリをポイントしていませんでした。	K1-19482
診断ユーティリティ ページのトラブルシューティングユーティリティ フィールドに最大 50 文字を含めることができました。	K1-19457
OpenLDAP のユーザー認証が期待どおりに動作しない場合があります。	K1-19336
パッチスケジュール ページに パッチタスク リストにあるパッチ適用をサポートしなかったデバイスが記載されていました。	K1-18926
KACE エージェントの実行可能ファイルにタイトル情報がありませんでした。	K1-18922
デバイスメッセージの 適用 ラベルがデバイス履歴に表示されませんでした。	ESMP-5603
SAMBA v.1 はデフォルトで無効になっていますが セキュリティ設定 ページでオプションを選択すると、再度有効にすることができます。	ESMP-5526
着信 HTML メールが などの特殊文字をデコードしていませんでした。	ESMAS-4173
チケット リストページでは一部の特殊文字を使用する検索は機能していませんでした。	ESMAS-4150
サービスデスクのキュー選択ドロップダウンで、一連のキューが完了しない場合があります。	ESMAS-4148

既知の問題

このリリースの時点で以下の問題の存在が認識されています。

一般的な既知の問題

既知の問題	問題 ID
KBSYS SMMP テーブルに行かないデバイスでは、パッチスケジュールとパッチ情報が表示されません。	K1-19907
以前のバージョンで作成された、ブラウザでブックマークされたログインページの一部は、このリリースで機能しなくなりました。	ESMP-6031
API 経由で場所詳細を取得することはできません。	ESMP-5989
スケジュールされたタスクがダイアログボックスに表示された状態で、指定された間隔で実行するようにスケジュールされていると、多くの問題が検出されます。	ESMP-5936
タスクチェーンの詳細 ページでタスクを並べ替えている間に、ステータス セクションの 現在のタスク の値が変わります。	ESMP-5857
リンクされたレポートは機能しません。	ESMP-5666

既知の問題	問題 ID
KBRSL プロビジョニングは段階的に廃止され、WinRM (Windows リモート管理) プロビジョニングが推奨される方法になっています。新しい Windows ビルドでは認証されていない SAMBA アクセスがデフォルトで無効になっているため、KBRSL が動作しません。	ESMEC-2948 ESMEC-2943
HP の保証の取得では、HP サーバーがカバーされません。	ESMEC-2846
Raspberry Pi で SELinux (Security-Enhanced Linux) のステータスが正しく表示されません。	ESMEC-2945
『管理者ガイド』のローカライズ版でエージェント不要デバイス検出スケジュールを作成する手順から、Telnet プロトコルの参照を削除する必要があります。	ESMEC-2942
エージェントを実行している Raspberry Pi デバイスは、リプリケータとして動作できません。	ESMEC-2939

システム要件

KACE SMA 9.0 をインストールするために必要な最小バージョンは 8.1 です。使用しているアプライアンスで以前のバージョンが実行されている場合、リストされているバージョンにアップデートしてから、インストールに進む必要があります。

KACE SMA エージェントをアップグレードするために必要な最小バージョンは 7.1 です。



注: バージョン 8.0 の時点で、アプライアンスは kmsgr プロセスを使用しなくなりました。7.0 以前のコードを実行している KACE エージェントがある場合は、次の手順のいずれかを完了する必要があります。

- サーバをバージョン 9.0 にアップグレードする前に、エージェントを 7.1 にアップグレードするか、
- バージョン 9.0 でエージェントを再プロビジョニングします。アップグレードはサポートされません。

アプライアンスのバージョン番号を確認するには、管理者コンソールにログインして以下のステップのいずれかを実行します。

- 7.1 以降の場合。ページの右上隅にある サポートが必要な場合 をクリックします。表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた i ボタンをクリックします。
- 6.4.x および 7.0 の場合。ページの右上隅にある疑問符 (?) をクリックします。表示されるダイアログボックスの右下隅で、K1000 について をクリックします。

バージョン 9.0 にアップグレードまたはインストールする前に、お使いのシステムが最小要件を満たしていることを確認してください。これらの要件は、KACE SMA の技術仕様で確認できます。

- 物理アプライアンスの場合 : <https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/9.0-common-documents/technical-specifications-for-physical-appliances/> に移動します。
- 仮想アプライアンスの場合 : <https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/9.0-common-documents/technical-specifications-for-virtual-appliances/> に移動します。
- サービスとしての K1000 の場合 : <https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/9.0-common-documents/technical-specifications-for-kace-as-a-service/> に移動します。

製品ライセンス

現在KACE SMAの製品ライセンスをお持ちの場合、追加のライセンスは必要ありません。

初めてKACE SMAを使用している場合は、アプライアンスセットアップガイドで製品ライセンスの詳細を確認してください。に移動して、適切なガイドを確認します。



注: バージョン9.0の製品ライセンスは、バージョン6.3以降を実行するKACE SMAアプライアンスでのみ使用できます。バージョン9.0のライセンスは、KACE SMAの旧バージョン (6.0など) を実行するアプライアンスでは使用できません。

インストール手順

このバージョンを適用するには、アドバタイズされたアップデートを使用するか、アップデートファイルを手動でアップロードして適用します。手順については、以下のトピックを参照してください。

- [更新の準備](#)
- [アップデートの手動によるアップロードと適用](#)
- [アップデート後のタスク](#)



注: 特定のソフトウェアを実行しているデバイスのソフトウェア検出とインストール数の正確性を確保するため、KACE SMA 7.0リリースから、ソフトウェアカタログがアップグレードごとに再インストールされます。

更新の準備

KACE SMAサーバをアップデートする前に、次の推奨事項に従ってください。

- KACE SMA サーババージョンの確認:

KACE SMA 9.0 をインストールするために必要な最小バージョンは 8.1 です。使用しているアプライアンスで以前のバージョンが実行されている場合、リストされているバージョンにアップデートしてから、インストールに進む必要があります。

- 7.1 以降の場合。ページの右上隅にある [サポートが必要な場合](#) をクリックします。表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた **i** ボタンをクリックします。
 - 6.4.x および 7.0 の場合。ページの右上隅にある疑問符 (?) をクリックします。表示されるダイアログボックスの右下隅で、[K1000](#) について をクリックします。
- KACE SMA エージェントのバージョンの確認。

KACE SMA エージェントをアップグレードするために必要な最小バージョンは 7.1 です。



注: バージョン 8.0 の時点で、アプライアンスは kmsgr プロセスを使用しなくなりました。7.0以前のコードを実行しているKACEエージェントがある場合は、次の手順のいずれかを完了する必要があります。

- サーバをバージョン9.0にアップグレードする前に、エージェントを7.1にアップグレードするか、
- バージョン9.0でエージェントを再プロビジョニングします。アップグレードはサポートされません。

- 開始前のバックアップ:

データベースとファイルをバックアップして、将来参照できるようにバックアップをKACE SMAサーバ以外の場所に保存します。データベースとファイルのバックアップの詳細については、『管理者ガイド』(<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/9.0-common-documents/administrator-guide/>) を参照してください。

アドバタイズされたアップデートを使用したKACE SMAサーバのアップデート

管理者コンソールのダッシュボードページまたはアプライアンスの更新ページで、アドバタイズされたアップデートを使用してKACE SMAサーバをアップデートできます。



注意: アップデート中、KACE SMAサーバを手動で再起動しないでください。

1. データベースとファイルをバックアップします。詳細については、管理者ガイド (<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/9.0-common-documents/administrator-guide/>) を参照してください。
2. アプライアンスのコントロールパネルに移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、K1000 システム管理コンソール (http://K1000_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
3. 左側のナビゲーションバーで、アプライアンスの更新 をクリックして、アプライアンスの更新 ページを表示します。
4. 更新の確認 をクリックします。

確認の結果がログに表示されます。
5. 更新プログラムが使用可能な場合は、更新 をクリックします。



重要: 最初の 10 分間、アップデートが解凍および検証されている間、一部のブラウザはフリーズしたように見える場合があります。この間に、ページからの移動やページのリフレッシュ、またはページでブラウザのボタンをクリックすると、これらのアクションによって処理が中断されるため、この間はこれらの操作を実行しないようにしてください。アップデートの解凍と検証の後、ログ ページが表示されます。アップデートプロセス中のいずれの時点でも、アプライアンスを手動で再起動しないでください。

バージョン 9.0 が適用され、KACE SMA サーバが再起動します。ブラウザウィンドウと管理者コンソールに進捗が表示されます。

アップデートの手動によるアップロードと適用

Questでアップデートファイルが公開されている場合は、そのファイルを手動でアップロードして、KACE SMAサーバを更新できます。



注意: アップデート中、KACE SMAサーバを手動で再起動しないでください。

1. データベースとファイルをバックアップします。詳細については、管理者ガイド (<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/9.0-common-documents/administrator-guide/>) を参照してください。
2. ログイン資格情報を使用して、Questウェブサイト (<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/download-new-releases>) にログインし、KACE SMAサーバの.kbinファイル (9.0 GA (一般向け) リリース用) をダウンロードして、ローカルに保存します。
3. 左側のナビゲーションバーで、アプライアンスの更新 をクリックして、アプライアンスの更新 ページを表示します。
4. 手動によるアップデート セクションで次の操作を実行します。
 - a. 参照 または ファイルを選択 をクリックして、アップデートファイルを見つけます。
 - b. アップデート をクリックし、はい をクリックして確認します。

バージョン 9.0 が適用され、KACE SMA サーバーが再起動します。ブラウザウィンドウと管理者コンソールに進捗が表示されます。

アップデート後のタスク

アップデートが終わったら、アップデートが成功していることを確認し、必要に応じて設定を確認します。

正常に完了していることの確認

KACE SMAのバージョン番号を表示して、正常に完了していることを確認します。

1. アプライアンスのコントロールパネル に移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、K1000 システム管理コンソール (http://K1000_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
2. 現在のバージョンを検証するには、ページの右上隅にある サポートが必要な場合 をクリックし、表示されるヘルプパネルの下部で、丸で囲まれた i ボタンをクリックします。

セキュリティ設定の確認

セキュリティを強化するため、アップデート中は HTTP および FTP 経由のデータベースアクセスが無効になります。データベースファイルへのアクセスにこれらの方法を使用している場合は、アップデートの後、必要に応じてセキュリティ設定を変更します。

1. アプライアンスの コントロールパネル に移動します。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されていない場合は、設定 をクリックします。
 - アプライアンスで組織コンポーネントが有効化されている場合、K1000 システム管理コンソール (http://K1000_hostname/system) にログインするか、ページの右上隅にあるドロップダウンリストから システム を選択し、設定 をクリックします。
2. 左のナビゲーションバーで セキュリティ設定 をクリックして、セキュリティ設定 ページを表示します。
3. ページの上部で、次の設定を変更します。
 - セキュアバックアップファイルの有効化：このチェックボックスをオフにすると、ユーザーは、HTTP を使用して認証なしにデータベースバックアップファイルにアクセスできるようになります。
 - データベースアクセスの有効化：このチェックボックスをオンにすると、ユーザーは、ポート 3306 経由でデータベースにアクセスできるようになります。
 - FTP 経由のバックアップの有効化：このチェックボックスをオンにすると、ユーザーは、FTP を使用してデータベースバックアップファイルにアクセスできるようになります。

注意: これらの設定を変更するとデータベースのセキュリティが低下するため、推奨されません。

4. 保存 をクリックします。
5. KBINアップグレードの場合のみ。アプライアンスへのルートパスワード (2FA) アクセスの難度を上げます。
 - a. システム管理コンソールで、設定 > サポート の順にクリックします。
 - b. サポート ページのトラブルシューティングツール で、2要素認証 をクリックします。
 - c. 2要素認証をサポート ページで、シークレットキーの置き換え をクリックします。
 - d. トークンに関する記録を作成し、この情報を安全な場所に保管します。

テザリングが確立されている場合は、トークンがKACEサポートに提供される必要があります。詳細については、『管理者ガイド』を参照してください。

追加のリソース

次の場所から、その他の情報を利用できます。

- オンライン製品ドキュメント (<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/9.0/technical-documents>)
 - 技術仕様：製品のインストールや、最新バージョンへのアップグレードに必要な最小要件に関する情報が記載されています。
- 仮想アプライアンスの場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/9.0-common-documents/technical-specifications-for-virtual-appliances/> に移動します。

サービスとしてのKACEの場合：<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/9.0-common-documents/technical-specifications-for-kace-as-a-service/> に移動します。

- セットアップガイド：仮想アプライアンスのセットアップに関する説明が記載されています。<https://support.quest.com/kace-systems-management-appliance/9.0/technical-documents>に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。
- 管理者ガイド：アプライアンスの使い方に関する説明が記載されています。<https://support.quest.com/technical-documents/kace-systems-management-appliance/9.0-common-documents/administrator-guide/> に移動して、最新リリースのマニュアルを参照します。

グローバル化

本項には、この製品を英語以外の構成でインストールして運用するための情報（北米以外のお客様が必要とする情報など）を記載しています。本項は、製品マニュアルの他の場所に記載されているサポート対象プラットフォームや設定に関する資料の代わりとなるものではありません。

このリリースはユニコード対応であり、すべての文字コードをサポートしています。このリリースでは、すべての製品コンポーネントを、同じまたは互換性のある文字エンコードを使用するように設定する必要があり、また同じロケールと地域オプションでインストールする必要があります。このリリースは、次の地域での運用をサポートすることを目的としています。北米、西ヨーロッパ、ラテンアメリカ、中央および東ヨーロッパ、極東アジア、日本。

このリリースは、次の言語のローカライズ版が用意されています。フランス語、ドイツ語、日本語、ポルトガル語（ブラジル）、スペイン語。

当社について

名前を超える存在

当社は情報技術をより促進するための探求をしています。IT管理の時間を短縮し、ビジネス革新に時間を費やせるようにするために、コミュニティ主導のソフトウェアソリューションを構築しています。データセンターのモダナイゼーション、クラウドへの素早いアクセス、データ駆動型ビジネスを成長させるために必要な専門知識、セキュリティ、およびアクセシビリティの提供をサポートします。革新の一部となるグローバルコミュニティへの Quest の促進と、顧客満足度を確実にするための当社のコミットメントを組み合わせることで、当社はお客様に真のインパクトを与え、誇りとなるレガシーを残すソリューションを提供し続けます。当社は新しいソフトウェア企業に変化していくことで現状に挑戦しています。お客様のパートナーとして、情報技術が、お客様のために、そしてお客様により設計されるよう、継続して取り組み続けます。それこそが当社のミッションであり、一体となりこのミッションに取り組んでいます。新しいQuestによろこそ。当社とともに革新を促進させましょう。

当社のブランドとビジョンと、ともに。

当社のロゴは、革新、コミュニティ、サポートという当社のストーリーを反映しています。このストーリーの重要な部分は、「Q」で始まります。これは技術的な精度と強度へのコミットを表している完全な円です。Qの空間は、コミュニティと新しいQuestに欠けている部分、つまりお客様に参加していただく当社の必要性を象徴しています。

Questへのお問い合わせ

営業窓口またはその他のお問い合わせについては、www.quest.com/contact を参照してください。

テクニカルサポートのリソース

サポートポータルでは、迅速に独力で問題を解決するために使用できるセルフヘルプツールを年中無休（24時間体制）でご利用いただけます。サポートポータルでは次のことを行うことができます。

- サービスリクエストの送信と管理
- サポート技術情報記事の表示
- 製品情報への登録
- ソフトウェアと技術文書のダウンロード
- 説明ビデオの再生
- コミュニティの討論への参加
- サポートエンジニアとのオンラインチャット
- 製品のサポートサービスの表示

法的情報

Copyright 2018 Quest Software Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

This guide contains proprietary information protected by copyright. The software described in this guide is furnished under a software license or nondisclosure agreement. This software may be used or copied only in accordance with the terms of the applicable agreement. No part of this guide may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying and recording for any purpose other than the purchaser's personal use without the written permission of Quest Software Inc.

The information in this document is provided in connection with Quest Software products. No license, express or implied, by estoppel or otherwise, to any intellectual property right is granted by this document or in connection with the sale of Quest Software products. EXCEPT AS SET FORTH IN THE TERMS AND CONDITIONS AS SPECIFIED IN THE LICENSE AGREEMENT FOR THIS PRODUCT, QUEST SOFTWARE ASSUMES NO LIABILITY WHATSOEVER AND DISCLAIMS ANY EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY WARRANTY RELATING TO ITS PRODUCTS INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL QUEST SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, PUNITIVE, SPECIAL OR INCIDENTAL DAMAGES (INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF PROFITS, BUSINESS INTERRUPTION OR LOSS OF INFORMATION) ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS DOCUMENT, EVEN IF QUEST SOFTWARE HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. Quest Software makes no representations or warranties with respect to the accuracy or completeness of the contents of this document and reserves the right to make changes to specifications and product descriptions at any time without notice. Quest Software does not make any commitment to update the information contained in this document.

If you have any questions regarding your potential use of this material, contact:

Quest Software Inc.

Attn: LEGAL Dept




4 Polaris Way

Aliso Viejo, CA 92656

Trademarks

Quest, KACE, and the Quest logo are trademarks and registered trademarks of Quest Software Inc. in the U.S.A. and other countries. For a complete list of Quest Software trademarks, please visit our website at www.quest.com/legal. All other trademarks, servicemarks, registered trademarks, and registered servicemarks are the property of their respective owners.

凡例

-  **注意:** 注意アイコンは、手順に従わないと、ハードウェアの損傷やデータの損失につながる可能性があることを示しています。
-  **警告:** 警告アイコンは、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。
-  **重要、注、ヒント、モバイル、またはビデオ:** 情報アイコンは、サポート情報を表しています。

KACEシステム管理アプライアンスリリースノート

更新日 - 2018 年 6 月

ソフトウェアバージョン - 9.0